

## 公民館通信



2023年  
8・9月号  
No.309

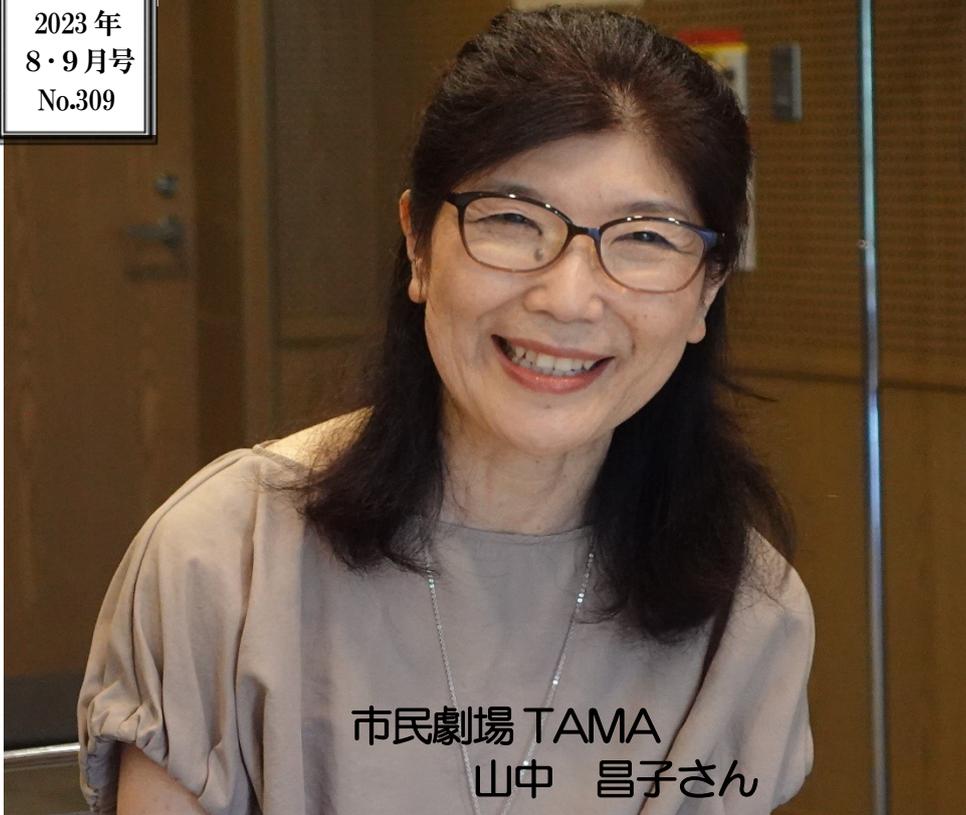
## たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003  
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

ひと♡ネットワーク

ずっと演劇  
心も体も健康だ！



市民劇場 TAMA  
山中 昌子さん



1974年、多摩市に公民館が誕生して早や半世紀。今年で50周年を迎える。公民館通信が発行されたのは1988年1月のこと。その第1号の表紙を飾ったのが「市民劇場TAMA」の山中さんだった。当時は、「たのしいまち」ではなく「こうみんか

ん」。一面の記事は「ひと♡ネットワーク」の前身「語るしすと」だった。昔も今も、笑顔がとても素敵だ。  
多摩市での演劇との関わりは公民館主催「青年演劇講座」。半年間の講座終了後、劇団「市民劇場TAMA」を受講仲間で作成

した。数年後には「多摩演劇フェスティバル」が誕生し、劇団をつなぐ実行委員としても関わるようになる。個性的な劇団が、それぞれ助け合い協力し合うフェスティバルも早や35周年。「他の市に誇れるモデル事業」だと絶賛する。  
有難いことに、「公民館にお世話になった」と感謝の言葉を何度も頂戴し、これからも市民をつなぐ公民館であらねばと肝に銘じた。

思い出に残る作品は、「じきに見える星」。市役所裏手のやまぼとホール閉館記念公演だったので、「こけら落とし」でなく「こけら上げ」だったと懐かしそう。そして、5劇団合同で演じた「毒薬と老嬢」。池袋の東京芸術劇場での公演だったそう。

稲城にお住いだつた山中さん。教員としての初任校が多摩市の小学校だった。それが縁で「演劇講座を受講したが、実は、演劇を始めたのは高校時代。おとなしい性格だったため親戚がビツクリしたというが、それからは演劇一筋。大学でも社会人となつても演劇を続け、今や「演技は日常」だという。社会教育の観点からも「人に興味を持ち、人になつたり、人に学んで、人として成長していく」場だと語り、いつしか自身自身に「人間の軸」ができていたと感ずるそう。

# 第24回永山フェスティバル

9月23日(祝・土)・24日(日)

## 永山フェスティバルの

季節がやってきた!!

今年、は屋外ステージ・模擬店を復活して開催!! 永山駅周辺の商業施設・公共施設を使い、ダンスや音楽演奏など、2日間にわたって様々な催しが目白押し!!



## 華やかな

### パフォーマンス!

グリナード広場ステージ・うえるかむステージ・ベルブホール・プレゴ前ステージでは、クラシック・ロック・ジャズなどの演奏のほか、フラダンスやオペラなどさまざまなジャンルのパフォーマンスをお楽しみください。

## 家族で楽しめる

### 永山フェスティバル

◎永山公民館諸室とグリナード永山2階つばさ広場・どんぐり広場「見て・聞いて・ふれて」をコンセプトに昔遊びや多摩の伝統技能の体験、パネル展示、毎年人気のハンドマツサージなど、ご家族でお楽しみいただけます。

### ◎フリーマーケット

ヒューマックスパビリオン永山2階広場では、フリーマーケットを開催!

### ◎スタンプラリー

会場内にある9ヶ所のスタンプを集めると景品の当たる抽選に参加できます。ぜひ、チャレンジしてみてください。なお、スタンプカードがなくなり次第終了となります。



多摩市永山 PR キャラ

### ◎縁日コーナー

縁日コーナーもあるよ。みんな遊びに来てね。

### ◎環境にやさしいフェスティバル

永山フェスティバルは、環境にやさしいお祭りを目指し、飲食模擬店ではリユース食器を意図します。

※開催時間など、詳細は永山公民館までお問合せください。

※ホームページもご覧ください!

『永山フェスティバル』で検索



TAMA映画フォーラム実行委員会  
特別上映会『かそけきサンカヨウ』

“淡く強く大人になる”  
恋愛映画の旗手、今泉力哉が描く現代の「父と娘」、そして「家族」の姿…  
昨年に直木賞を受賞した稲城出身の窪美澄さんの原作。自ら切望し映画化した『かそけきサンカヨウ』

上映日…8月26日(土)

会場…ベルブホール

7月29日(土)より

チケット発売中!

※時間・料金等、詳細

は、下記のQRコードもしくは、映画祭ホームページにてご確認ください。



©2020 映画「かそけきサンカヨウ」製作委員会

<https://www.tamaeiga.org/special/kasokeki/>

ヴィータマンズリーコンサート

■グアム・チャモロ音楽の世界〜夏の終わりに、めずらしい太平洋マリアナ諸島の音楽を、

「チャモロ文化を担うグループ」としてグアム政府の認定を受けたグループによるコンサートです。せいせきで、グアムの風尾を感じませんか？

開催日：8月25日(金)

14時開演(30分前開場)

場所：関戸公民館 ヴィータホール

定員：200人(先着順)

※親子観覧室可

出演：グマ・フアマグウン・タノ・ザ

ニ・タシ(チャモロの言葉で「大地と海の子どもたち」という意味)

内容：1部「グアムの歴史を音楽でたどる」、2部「たのしいチャモロ音楽ショー」

申込：当日直接会場へ(入場無料)

共催：ヴィータ・マンズリーコンサート  
実行委員会・関戸公民館

小さいお子さん大歓迎!

一緒に声を出したりして楽しめます。飽きたら、ちよつと遊べるスペースもあります!

たまには芝居

■たまには芝居参加公演 帝京大学ウィクセンズシアター Vol.119 バス停

随分と昔から町になじむバス停。子どもから御老人まで幅広く、利用いただいております。少々本数が少ないので利用客同士で仲良くなることもしばしば。そんなバス停では、今日も一期一会の出会いがあるかもしれません。

開催日時：9月2日(土) 19時開演、3

日(日)①13時開演、②17時開演

(いずれも30分前開場)

場所：関戸公民館 ヴィータホール

定員：各回175人

チケット：当日1,000円、事前予約

900円(小学生以下無料)

問合せ：帝京大学ウィクセンズシアター

080(5506)0995(桐山)

共催：多摩演劇フェスティバル実行委員会

会：関戸公民館

★たまには芝居公演情報(予定)★

■10月8日・9日 市民劇場TAMA

■11月25日・26日 劇団古田工務店

■1月13日・14日 ドラマ館

■3月16日・17日 TAGWEAP

■3月20日 お芝居の工房ちやとらん

■3月30日・31日 劇団Marc

h Wind

what's JAZZ ジャズへの招待 vol.65

～再びラテン スペシャル～

3月に好評だったラテン JAZZ を再び。夏の終わりに灼熱のラテンサウンドをお楽しみください!

9月8日(金)

ランチタイムコンサート 12:00 開演

ティータイムコンサート 15:00 開演

<いずれも30分前開場>

場 所：関戸公民館ヴィータホール

入場料：完全入れ替え制、各1,500円(ランチ・ティータイム2回分を購入する方は2,500円)

前売券：8月8日(火)10:00～9月7日(木)17:00

ヴィータコミュニネ7階「多摩ボランティア・市民活動支援センター」で販売(お釣りのないようにご協力を。)

当日券：午前11:30から会場受付で

主催：what's JAZZ実行委員会・関戸公民館

<お知らせ>

ヴィータマンズリーコンサートは、

9月・10月は「お休み」です。

今回は11月24日(金)、チェンボーカルテットによる二胡とピアノのコンサート! お楽しみに♪

公民館50周年記念事業

ミニ展示 牧野富太郎と多摩

8月8日(火)～20日(日)

9:00～17:00

関戸公民館ギャラリー

近代植物学の父、牧野富太郎の人物像、植物採集の軌跡をパルテノン多摩の協力によりミニ展示として開催します。



主催：関戸公民館

協力：(公財)多摩市文化振興財団



## せいせき朝顔市で、 ドロシーズを見たよ♪

2023年7月1日(土)  
関戸公民館ヴァータホールにて

以前、この公民館通信の表紙をドロシーズのボーカル、GENGENさん(取材時は GENさん)が飾ってくれたことがあった。以来、そんな素敵なオールディーズバンドを、この目で見たい見たいと願い続けて来たのだが、ようやく今年、夢が叶って、ライブに足を運ぶことができた。もうそれだけでワクワクして、始まるのを今か今かと待っていたのだ。

この日はせいせき朝顔市の日で、ライブ以外にも、アイスランド写真展や、あさがお寄席(ああ、やっぱり以前、この通信の表紙に載って下さった、多摩落語寝床の会さんたちだ♪)、おもちゃ病院(ああ、やっぱりこの表紙に載って下さった kebo の方々だ!)と、私にとっては懐かしい、馴染みの方たちに会える、嬉しい日でもあった。

いよいよドロシーズのライブが始まった。実は GENGENさん、チラシに載ってる写真を見る限り、髪はリーゼントにキリリと決めて、サングラスをかけ、硬派でゴリゴリな感じなのに、表紙に載っていただく時は、ソフトで優しくて控えめなしゃべり方だった。はて、実際の演奏はいったいどんな感じになるんだろう? ゴリゴリ? ソフト?

ハテナマークいっぱいではまったライブは、想定外に爽やかな、聴き心地いい、ウキウキするような楽しい曲ばかりだった。1ステージ目は、シェリー、カラーに口紅、プレスリーの曲、小林亜星さんが作詞作曲したもの…半分は知ってる曲だ。2ステージ目は、コパカバーナ、ハウンドドッグ、キスは目にして、テネシーワルツ…わあ、ほとんど全部知ってる♪ ついで一緒に歌い出したくなるような曲ばかりで。

GENGENさんのイケメンボイスが軽やかに、し

かし力強く響く。1曲が短くてどんどん次の曲へと展開して行くので、客席もずっとノリノリのままだ。「キスは目にして」でお茶の間を沸かせたコニーちゃんを彷彿とさせる、ポニーテールでヒラリと広がったスカートをはいたリルまーちゃんの美声は、バラードもしっかりと会場に響き渡る。そして、ドラムのテクを披露してくれたひろっすいさんは、めちゃくちゃ高い衝撃の高音ボイスで歌ってくれたり、ウクレレも弾きこなしてくれたり。とにかく MC がたくさんあって、脱力してて楽しい。コロナ禍で会えなかった時間を取り戻すかのように、満席のお客様たちとのやり取りを心から楽しんでいるようだ。(本当に客席としゃべっていた)

「一緒に踊り隊」も仕込まれていて、歌のたびに十数人が前に出て踊りまくってくれたのも、雰囲気作りがバッチリで盛り上がった。あれっ、その中に1人、筆者の知り合いがいるな～なんて思っていたら、なんとアンコールでその知り合いがステージ上に引っ張り上げられて、ダイアナを歌っていた。ビックリ。アンコールで GENGENさんが歌わないなんて? どれだけ自由にリラックスしてるんだろう。ああ、先が読めない。楽しい。楽しすぎる。

とにかく終始、みんなで音楽を楽しんでいる様子があふれ出ていて、本当に心の洗濯をさせてもらった。まーちゃんのお母様も客席にいらしたようで、もう、ご家族一同、楽しんでいらっしやるんだろうな。ドロシーズさん、これからもずっと、こうやってみんなに元気と癒しを与えて下さいね。来年も絶対、観に行きますので、ヨロシク!

(楽)



## 『アーモンド』



ソン・ウオンピョン著 矢島暁子訳 祥伝社 2019年  
偏桃体（アーモンド）が人より小さい失感情症という障がいを抱える主人公  
ユンジェと不良少年ゴニの二人の少年の成長物語。著者は「共感」と「愛」に  
ついて問いかける。

「愛とは、種に注がれる水と日差しのようなもの」と語る。いじめ、暴力、虐  
待などが起きている問題は、共感する力の欠如によるとよく言われるが、共感  
できる力を身に着けたいと改めてこの物語を読んで思う。競争することが当然  
のように考えられている社会に在って、本当の「共感」とは、「愛」とは何かを  
問い続けたい。

多摩市文庫連絡協議会 個人会員 小林幸子

## 画文集『絵が語る八重山の戦争—郷土の目と記憶』



潮平正道著 南山舎 2020年8月15日刊

「戦争マラリア」って知っていますか？ 第二次世界大戦末期に米軍  
が上陸した沖縄本島の戦争被害については、米軍による多くの記録写真  
が残されていますが、本島から南に遠く離れた八重山群島ではほとんど写  
真も残されていません。当時石垣島の旧制中学1年生だった故潮平正道  
さんが、日本軍による住民のマラリア有病地への強制疎開の被害体験

を絵に書き、文章を長女の久原道代さんと孫の望未さんが書きました。平和教育のために小学生でも  
わかるように戦禍の実態が描かれています。

多摩市文庫連絡協議会 コアラ文庫 青木洋子

さて、7/1にオープンした  
多摩市立中央図書館。2階は  
サテライトカウンターという  
丸いコーナーも2つあり、照  
明も円形で『知のひろば』と  
いうコンセプト。展示やミニ  
講座ができるし、柱を木に見立てて、公園風でみんな  
が集まりやすい空間が演出されている。子どもの  
本も充実していて、そこに立っただけで何だか  
とっても楽しい。太陽光パネルの屋根は、段違いに  
ズれているおかげで隙間からサンサンと陽の光が  
降り注ぎ、明るいことこの上ない。何気なく置いて  
ある小さいテーブルは、まさにこの場所に生えてい  
たクスノキを切ってテーブルに仕立てたもの。ああ、  
大切に使おうと思った。

窓際の机は車椅子に合わせて可動式のものもあ  
り、明るい活動室3つは有料で貸し出し可。おひ  
ざの子どもも自由に動けるやまばとひろば(懐か  
しい名前!)、へなそうるのへや、おはなしのへ  
やがあり、壁いっぱいイラストが広がる部屋も  
あるから探してね。絵本「もりのへなそうる」は

## 中央図書館 探検!

(下)

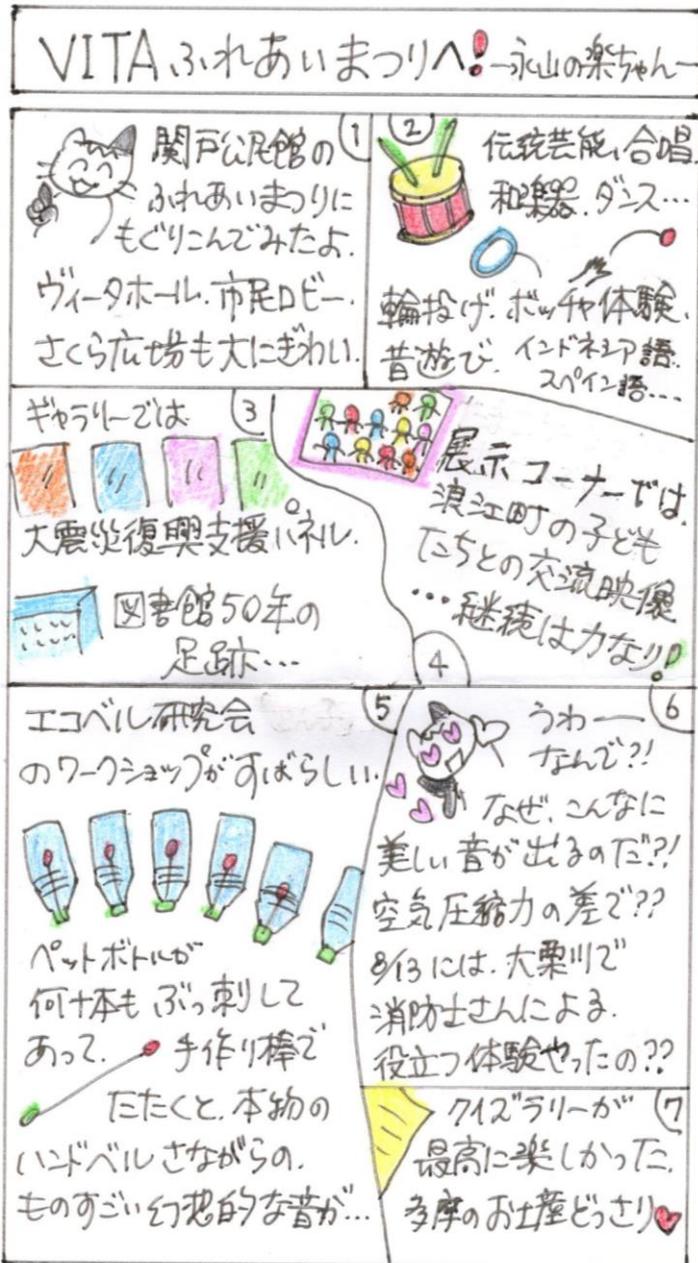
作者の渡辺茂男さんが息子さん  
達と多摩丘陵で遊んでいる時に  
生まれた物語で、息子さんから  
たくさんの本や、仕事で使って  
いた机などを寄贈していただ

き、誕生した部屋だ。カフェスペースの外にはカ  
フェテラスが広がり、多摩中央公園の噴水が一望  
できるという素晴らしさ。公園に出入りできるの  
で、パルテノン多摩からも近い。

こんなステキな場所を利用しないなんてもった  
いない。17万冊の蔵書、140席もの座席が私た  
ちを待っているのだ。もちろん、読書以外のいろ  
んな使い方も工夫できる。どう過ごすかはあなた  
次第。ぜひご家族で、カップルで、1人でこっそ  
り、このステキな場所を訪れてみてね。一見の価  
値あり!

(楽)





☆昔の「こうみんかん」を、パラパラ見ている、1999年2月「語るしすと」に登場した「市民劇場TAMA」の方を発売。今号表紙の昌子先生の教え子だった。(月)

☆新型コロナウイルス感染症に罹患した。今夏は「自宅療養」という名で夏休みが終わった。(ゆ)

☆4年ぶりに完全復活して開催する永フェス!約1年がかりの準備も大詰め。最後はお天気を祈るのみ!!(あ)

☆上の娘が入籍した。8/4は1粒万倍日と天赦日と大安と箸の日(ヘアで夫婦♪)と、娘たちのつき合い始め記念日。が重なるという奇跡の日。新婚旅行で大谷翔平を3回見に行った強者。反面、私ときたら、7月も3回コケて、3度目はあご3針縫った。マスクに並々と血が。呆。

### 編集後記



令和5年4月1日付で永山公民館長兼関戸公民館長に着任した伊藤です。

3月末まではくらしと文化部文化・生涯学習推進課で国際交流や都市交流事業を担当していました。今回は、多摩市と友好都市を結んでいる「長野県富士見町」について紹介します!

多摩市の友好都市「長野県富士見町」を訪れたことはありますか?

多摩市の小中学校に在籍している・した方は、課外活動等で八ヶ岳少年自然の家を訪れているのではないのでしょうか?富士見町は、八ヶ岳の麓にある自然豊かな町で、町名のとおり美しい「富士山」を望めるスポットがたくさんあります。そんな、魅力あふれる富士見町で4年ぶりに開催された、富士見町夏の一大イベント「OKKOH(オッコー)祭り」。今年は7月29日に開催され、プライベートで参加してきました!

「オッコー」とは、富士見の方言で「大仰、大げさ」という意味で、転じて「凄い、酷い」といった意味にも使われるため、みんなでオッコーにフィーバーしたいとの願いから命名されたとのこと(富士見町商工会HPより)。

オッコー祭りのメインは何といっても、日が沈み始めた夕方から開催されるオッコー踊り連!「OKKOH富士見っ子音頭」や「OKKOH踊り」をひたすら踊る「オッコーに」フィーバーした2時間!今年は、17組600名の踊り連が参加。多摩市からもオッコー祭りに参加するツアーを開催し、「多摩市踊り連」として41名の市民の方が参加しました!多摩市の法被を着て両手にうちわを持ち、みんなが楽しく、リズミカルに、時には激しく…踊りに踊って、素敵な夏の思い出になったにちがいありません!

歌って!踊って!!盛り上がる!!そんな熱いイベントが多摩市にもあります!永山フェスティバル、通称「永フェス」が9月23・24日に開催!今年は4年ぶりにコロナの制限なく通常開催ということで、多くの出演者・出店者が集まりました!様々な会場で熱気にあふれる2日間!市民の皆さんで作上げる永フェス!今からワクワクがとまらない!

